

新たな助産ケア提供体制の 構築推進会議 2026

6月5日(金) 13:30～15:30

オンライン

参加
無料!

少子化に伴う分娩取扱施設の減少等により、
妊産婦の出産環境や助産師の働く環境は大きく変化しています。

日本看護協会では2026年度から将来の周産期医療の課題を見据えた
持続可能な助産ケア提供体制の構築を目指して取り組んでいます。

関係者の皆様には、オープンシステムや助産師出向、ICT等を
活用した地域の助産ケア提供体制を構築の必要性等について
ご理解いただきたく、情報提供の機会を設けました。ぜひご参加ください。

講演内容

周産期医療を取り巻く現状と今後の展望

山崎 翔氏（厚生労働省 医政局地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 室長）

13:35～13:55

地域における助産師の新たな活動拠点 モデル（案）のあり方について

井本 寛子（日本看護協会 常任理事）

13:55～14:15

助産師の更なる役割発揮と オープンシステムの可能性

秋葉 志帆氏（隸三方原病院看護課長）

14:15～14:30

高知県の実情と助産師への期待

林 和俊氏（高知医療センター 院長）

14:30～14:50

安心・安全な周産期医療提供体制の整備に 向けた都道府県看護協会の取り組み

八田 冷子氏（鹿児島県看護協会 会長）

14:50～15:10

参加対象

- ・総合周産期医療センターの看護管理者
- ・都道府県職能委員長（助産師・保健師・看護師 I -病院領域-）など

申込はこちら！

申込×切
～6/5 10:00

申込専用フォーム



https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_queEasAsTL01jcSQi02BYw#/registration

みんなで考えよう
未来のこと



公益社団法人 日本看護協会

担当部署：健康政策部

お問合せ先：chiikihokatsu@nurse.or.jp